

REHAMAGA

患者様とご家族を支える、
病院と地域をつなぐ、入退院支援室。



住み慣れた自宅での生活を目指し、入退院支援室が多職種、他機関連携でサポート。 不安な気持ちを1人で抱え込まず、気軽にご相談ください。

入退院支援室の紹介

入院から退院、そしてその先の生活まで。患者様とご家族に寄り添い、地域での安心をサポートする入退院支援室をご紹介します。



入退院支援室
火山 滉揮

入退院支援室は、患者様、ご家族が安心して入院から退院後の生活までの療養生活を送れるよう相談支援を行う部署です。医療ソーシャルワーカーが常駐し、医師や看護師等の他職種や院外の関係機関と連携しながら様々な心配事や課題解決に向けて支援しています。入院患者様だけでなく、外来患者様や当院について知りたい方など、どなたでも相談は可能です。また、当院の総合相談窓口にもなっており、「誰に聞いたら良いかわからない」「周りに相談できる人がいなくて不安」など、お困りのことがあれば、まずは入退院支援室にご相談ください。



入退院支援室
小林 麻希

私たち医療ソーシャルワーカーは、けがや病気によって伴う不安や退院後の生活について、患者様やご家族と一緒に考え、支援する専門職です。福祉制度や介護サービスのこと、どこに相談すればよいか分からないことでも、気になることがあればぜひご相談ください。

医療ソーシャルワーカー(MSW)は、どんな専門職？

医療ソーシャルワーカー(MSW: Medical Social Worker)とは、社会福祉士の資格を持った専門職で、病気や怪我等で要介護状態や障害が残った際に、患者様やご家族が抱える課題を解決するために様々な支援を行います。療養中の悩みに寄り添い、医療費等の不安がある場合には活用できる社会福祉制度の紹介をいたします。退院後の生活に向けて院内スタッフと連携・調整を行い、安心した生活を送れるように課題解決に向けてサポートいたします。また、入院に関する相談の窓口となり、地域と病院のかけはしになる役割も担っています。



入院～退院のフローチャート

入院から退院へ、そして退院後の暮らしまで。専門職が患者様に寄り添い、安心を支える流れをご紹介します。



入退院支援室に入院相談が入ります。ご希望に応じてご家族と持ちものや入院日の流れの確認、不安ごとの相談をお受けします。



入院

②カンファレンス

多職種が集まり専門的な見解を共有し、患者様にとってどのような支援が必要か検討します。

④MSW面接

退院後にどのような生活を希望されるか等、意向を確認します。なんらかの課題があれば、解決方法の相談や福祉制度の利用に向けて一緒に相談します。



自宅退院

①初回評価

患者様を交え、現状の身体状況やリハビリ目標の確認をします。

③インフォームドコンセント

医師から病状、退院計画を患者様、ご家族へ説明します。

⑤退院前訪問指導

自宅退院の前にリハビリ担当者と外出訓練を行い、課題の確認をします。身寄りがない、高齢世帯など社会的な支援が必要な方はMSWが同行します。

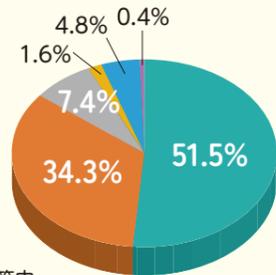
⑥退院前カンファレンス

患者様、ご家族、病院スタッフ、ケアマネジャー、在宅サービス事業所など関係職種が集まり、安心して在宅生活を送れるよう情報共有、意見交換を行います。

データで見る入退院支援

入院受入の割合

地域の医療機関との連携を密にし、スムーズな受け入れ体制を整えています。自宅からの入院相談も受けております。

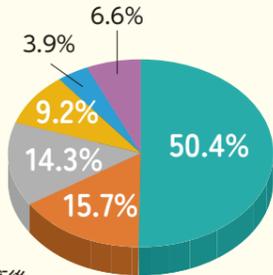


■ 北斗病院 ■ 厚生病院
■ 協会病院 ■ その他十勝管内
■ 十勝管外 ■ 在宅

2024年度

疾患別割合

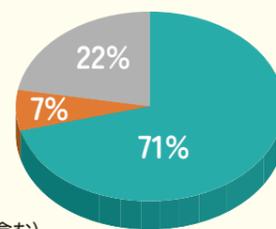
当院は回復期リハビリテーション病院で、入院する対象者は、厚生労働省が疾患などの条件を定めています。対象になるかわからなければ、まずにご相談ください。



■ 脳卒中等 ■ 大腿骨骨折
■ 胸腰椎骨折 ■ 股・膝関節術後
■ その他整形疾患 ■ 廃用症候群

在宅復帰率

医療ソーシャルワーカーが自宅退院に向けた介護相談や介護施設、療養病院の紹介をお手伝いします。



■ 在宅 ■ 介護施設
■ 療養病院(一部の施設を含む)

入退院サポート

遠方からの入院患者さまにも医療面だけでなく日常生活や精神面でも大きな安心感を提供します

アメニティセット

入院生活に必要な衣類・タオル・紙おむつや日常生活品、TV、冷蔵庫などを日額定額制で利用できます

患者送迎

無料送迎(十勝管外のみ)

洗濯代行

当法人のヘルパーがご家族に変わって洗濯いたします

入院手続きサポート

当院の看護師と社会福祉士が入院手続きをサポートいたします

退院支援

当院の社会福祉士が在宅復帰や施設入所など退院に向けサポートします

INFORMATION

第3回 Tokachi Rehabilitation Seminar

Top of the top 上肢リハビリテーションの最前線

— 卓越した知見と臨床から探る新たな地平 —

日時 2025 **8/27** (水) ▶ 19:00 - 20:30 会場 北海道ホテル
帯広市西7条南19丁目1番地

対象 リハビリテーションに関わる医療従事者 介護従事者など **先着 120名**

演題1 ●座長 / 向野 雅彦先生 北海道大学病院 リハビリテーション科 教授

「新しいリハビリテーション治療」

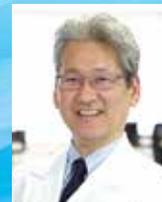
ふじわら としゆき

講師 / 藤原 俊之 先生

順天堂大学大学院医学研究科リハビリテーション医学講座 主任教授

順天堂大学医学部リハビリテーション医学講座 主任教授

順天堂大学保健医療学部 学部長



配信視聴
お申し込み先
8月26日(火)
締め切り



Zoom(ウェビナー)で配信します。
2次元コードからお申し込みください。
視聴のみとなります。

**先着
500名**

書籍

『回復期リハビリテーション介入 クイックリファレンス』刊行のお知らせ

専門チームによる25年の臨床知を集約

社会医療法人北斗が、回復期リハビリテーション病棟開設25年の知見を凝縮した専門書

『回復期リハビリテーション介入クイックリファレンス』を刊行しました。

北海道大学病院の向野雅彦教授監修のもと、新人・若手セラピスト向けの実践的な内容です。

- 書名 / 回復期リハビリテーション介入クイックリファレンス
- 発行日 / 令和7年6月19日
- 監修 / 向野 雅彦(北海道大学病院 リハビリテーション科 教授)
- 発行元 / メディカル・ケア・サービス株式会社
- 編集 / 白坂 智英(社会医療法人北斗 十勝リハビリテーションセンター院長)



社会医療法人 北斗

十勝リハビリテーションセンター



〒080-0833 帯広市稲田町基線2番地1

☎ **0155-47-5700**

FAX 0155-47-5701

電話対応時間 平日 / 9:00~17:00、土曜 / 12:00まで

- 帯広駅から車でおよそ20分
- 十勝バス「十勝リハビリテーション前」より徒歩2分